

マーケットの動き（2021年11月29日～12月3日）

先週の国内リート市場は、前週末比で下落しました。

週初は新型コロナウイルスの変異型「オミクロン型」の感染拡大に対する懸念が重荷となったほか、米国製薬大手CEO（最高経営責任者）が既存ワクチンには有効性が下がるとの見解を示したとの報道によりリスク回避の動きが強まりました。しかし、節目の東証REIT指数2,000ポイント付近では押し目買いが入るなど底堅さも見られました。

セクター別では、オフィスセクターや住宅セクター、商業・物流等セクターが総じて下落しました。

投資環境見通し（2021年12月）

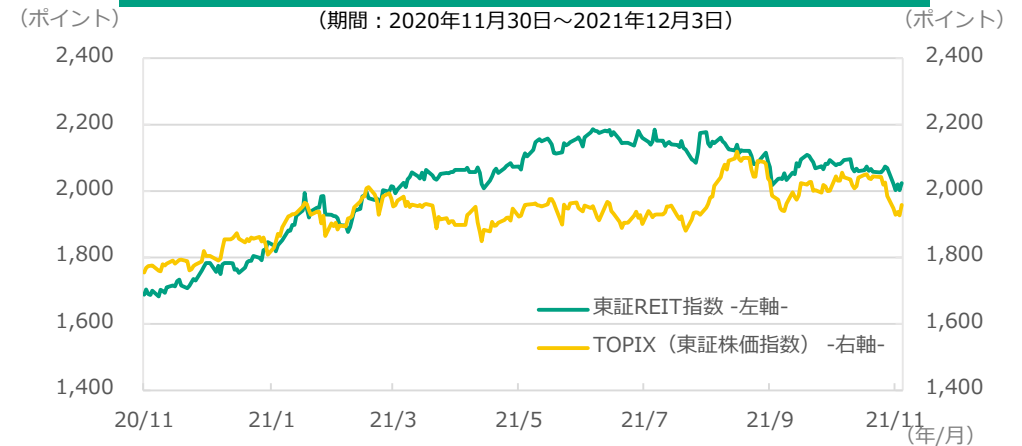
国内リート市場の回復を予想

新型コロナウイルスの変異型「オミクロン型」の世界的な感染拡大を受け、渡航制限が再び強まるなど警戒感が高まっています。「オミクロン型」の感染動向次第では経済活動正常化の遅れが懸念されるものの、日本国内で経済再開の動きが本格化してきているほか、日銀の低金利政策が続く中、利回りを求める資金は引き続き多いとみており、国内リート市場の回復を予想しています。

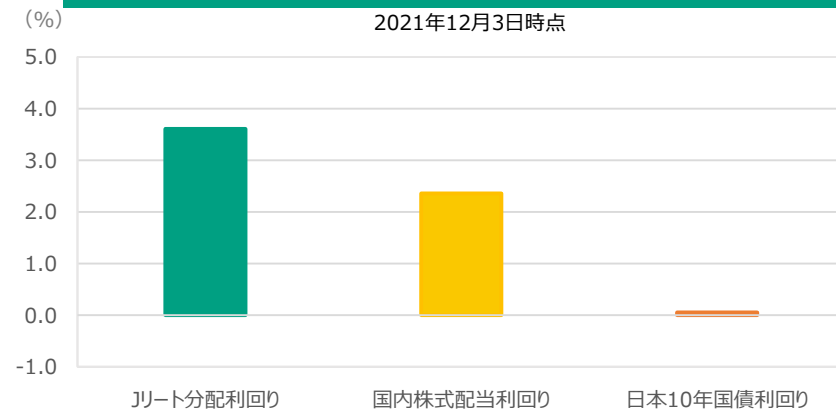
	12月3日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
東証REIT指数	2,024.27	▲2.17%	▲3.00%	▲4.23%	19.94%
<ご参考>					
TOPIX（東証株価指数）	1,957.86	▲1.37%	▲4.75%	▲0.04%	10.29%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

東証REIT指数、TOPIXの推移



国内各種資産利回り



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>